

幼保小接続資料

幼保小の円滑な接続に向けて

—5歳児から小学校1年生の「架け橋期」における教育課程—

目 次

I	本資料の趣旨 「幼保小の円滑な接続の必要性について」	1
II	架け橋期（5歳児から小学校1年生）の教育課程について	3
1	5歳児の生活や遊び・指導の重点	3
	（1）「名古屋市の教育・保育に関する全体的な計画・指導計画（参考）」	3
	（2）5歳児の園での一日の生活の流れ、及び環境の構成や 保育者の援助の重点（参考例）	4
	（3）幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	11
2	小学校入学当初におけるスタートカリキュラムについて（活動例）	13
3	1年生の各教科の教育課程における「幼保小（架け橋カリキュラム）」について	16

参考資料（名古屋市教育局幼児教育支援室のHPから閲覧・ダウンロードできます）

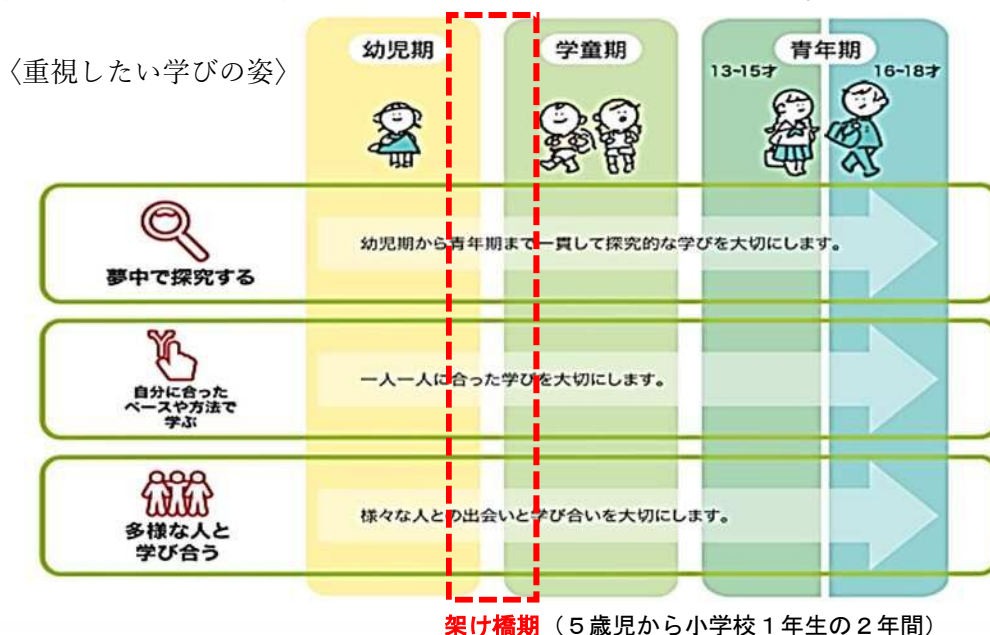
- ◆ 幼保小接続リーフレット
幼児教育と小学校教育との円滑な接続に向けて
～幼児期の遊びを通した主体的・対話的で深い学びを
小学校での学びにつなぐ～
- ◆ 幼保小接続資料
実践事例
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

<https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000167368.html>



I 本資料の趣旨 -幼保小の円滑な接続の必要性について-

「ナゴヤ学びのコンパス」では、自立して学び続ける子どもの育成を目指し、幼児期から青年期まで一貫して「子ども中心の学び」が大切とされている。この考えを実現するためには、幼児期と児童期の発達や学びの連続性への認識を深めることが求められる。



*「ナゴヤ学びのコンパス(概要版)」 令和5年9月発行(名古屋市教育局より引用)

中央教育審議会初等中等教育分科会における「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」の審議のまとめには、「5歳児から小学校1年生の2年間の『架け橋期』は、幼保小が意識的に協働して子どもの発達や学びをつなぐことにより、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくることが重要である」と示されている。幼児期の遊びを通じた学びや成長を、児童期の主体的な学びへとつなげるために、「架け橋期」は重要な時期となる。

小学校学習指導要領総則においても、「入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと」と示されている。

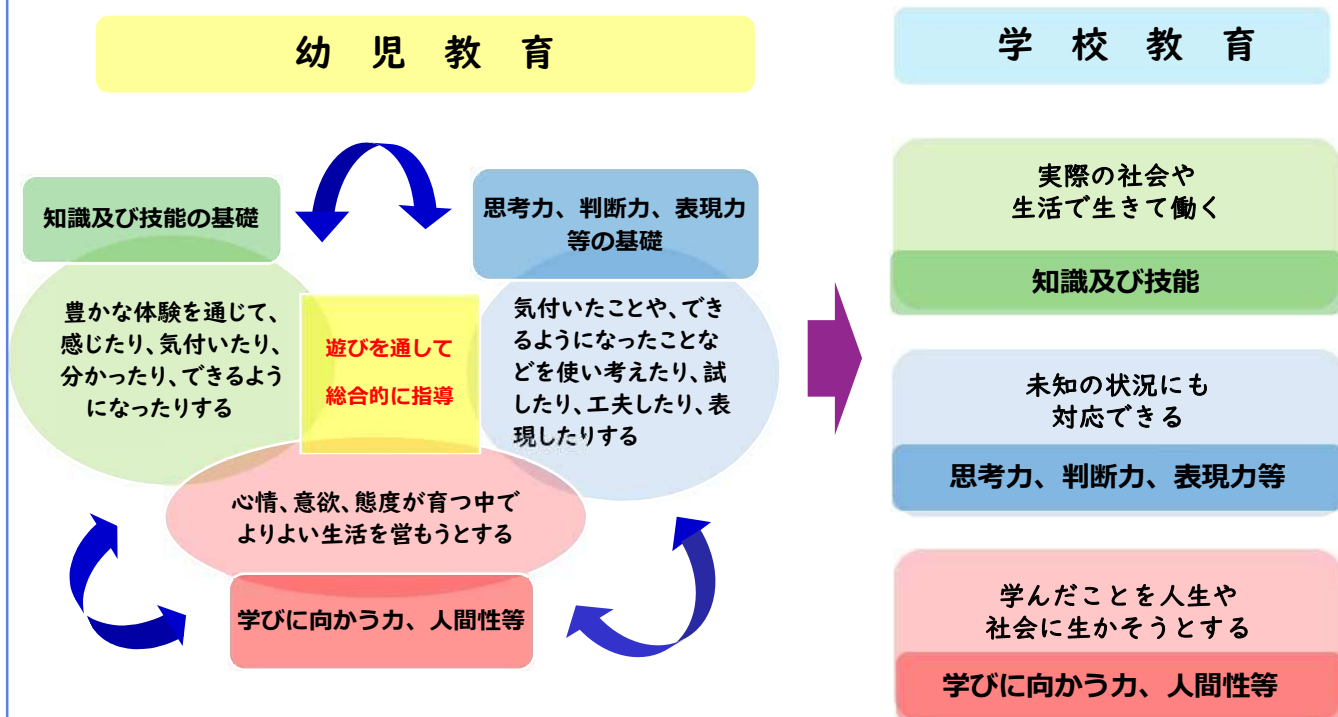
幼児教育は、小学校教育の先取りではなく、幼児が主体的に遊びの楽しさや面白さを感じる中で、自ら気付いたり考えたりすることなどを大切にしている。この学びが「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(幼1-11参照)」へとつながり、その過程で育まれる資質・能力は、小学校での学習意欲や生活態度の基礎となっていく(次ページ図1参照)。

幼児期の遊びを通して育まれてきた資質・能力が、低学年の各教科等における学習に円滑に接続するためには、双方の教育や資質・能力のつながりを理解し、発達や学びの連続性を踏まえた教育課程やそれに基づく指導計画の改善を図ることが望まれる。

そこで、新教育課程では、架け橋期における教育を「5歳児」「小学校入学当初」「1年生の各教科等の学習へのつながり」の視点から、「5歳児の生活や遊び、指導の重点」、幼児期の学びの成果を生かす「スタートカリキュラム」、さらに各教科等の学習につながる「架け橋カリキュラム」として示した。資質・能力が一貫してつながる「架け橋期の教育課程」作成の参考としてほしい。

<図1>

【幼児教育と学校教育で目指す資質・能力のつながりのイメージ】



【幼児教育における遊びを通して育まれる学びと、
小学校における学習とのつながりのイメージ】

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



幼児期の終わりまでに育ってほしい姿とは…
到達目標ではなく、幼児教育で育みたい資質・能力が育まれる過程で見られる生活の姿です。

スタートカリキュラムとは…
小学校へ入学した子どもが、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。

* リーフレット「幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて～幼児期の遊びを通して主体的・対話的で深い学びを
小学校での学びにつなぐ～」令和5年2月発行（幼児教育支援室）より引用

Ⅱ 架け橋期（５歳児から小学校１年生）の教育課程について

１ ５歳児の生活や遊び・指導の重点

（１）「名古屋市の教育・保育に関する全体的な計画・指導計画（参考）」

名古屋市の幼稚園・保育所・認定こども園では、平成２９年「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の改訂（定）の際、「名古屋市の教育・保育に関する全体的な計画・指導計画（参考）」を見直し、乳幼児期の子どもの発達の過程における節目を以下のような１７の区分として捉え、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や「幼児期に育みたい資質・能力」を念頭に教育課程・指導計画を改善した。

この資料を基に、各園では、子どもの発達の実態や地域の特性、建学の精神等を踏まえ、教育課程（全体的な計画）の編成、それに基づき指導計画を作成し、日々、子どもの実態に応じた指導を行っている。

<乳幼児期の子どもの発達の節目による区分>

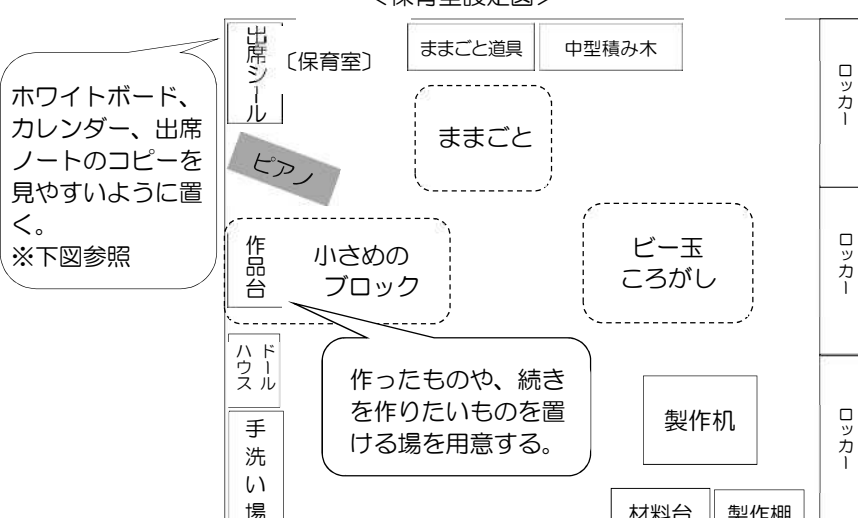
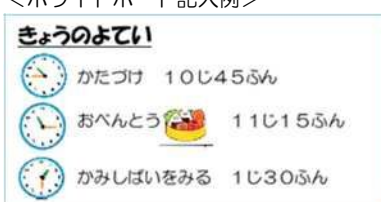
6 か月未満		6か月～1 歳未満		
1 歳前期		1 歳後期		
2 歳前期		2 歳後期		
3 歳児	第 1 期	第 2 期	第 3 期	
4 歳児	第 4 期	第 5 期	第 6 期	第 7 期
5 歳児	第 8 期	第 9 期	第 1 0 期	第 1 1 期

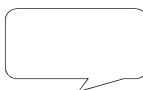
<５歳児の期のねらい（架け橋期）>

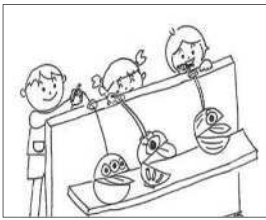
※期のねらい…それぞれの時期の子どもの姿を踏まえ、各期に育ってほしい姿を具体的に示したもの

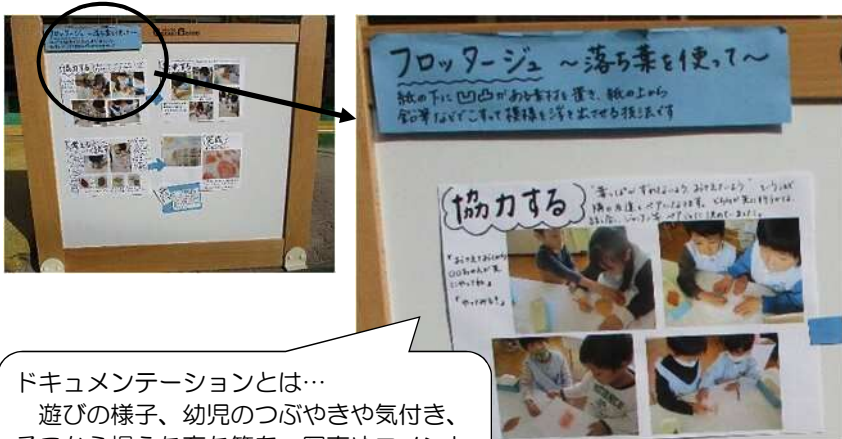
第8期	第9期	第10期	第11期
進級したことを喜び、自分から進んで動こうとする。	自分の思いや考えを互いに出し合いながら、友達と一緒に遊びを進めようとする。	友達と互いのよさを認め合いながら、自分の力を発揮して生活する楽しさを味わう。	友達と共通の目的に向かって取り組む中で、満足感や充実感を味わい自信をもって行動する。

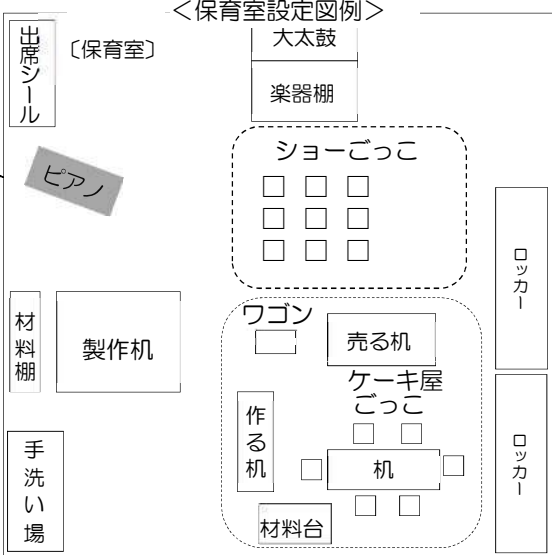
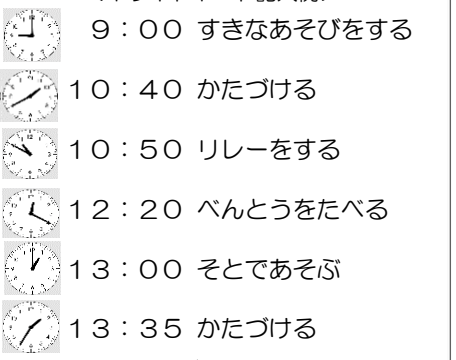
(2) 5歳児の園での一日の生活の流れ、及び環境の構成や保育者の援助の重点（参考例）

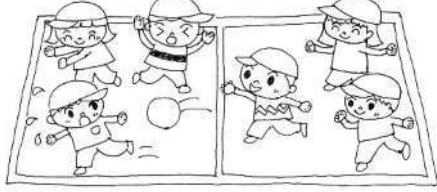
期のねらい		第8期（4月～5月）	第9期（6月～8月）
		進級したことを喜び、自分から進んで動こうとする。	自分の思いや考えを互いに出し合いながら、友達と一緒に遊びを進めようとする。
時間	一日の流れ	○具体的な姿・遊び・活動 ・保育者の援助の重点	
8：45 ～9：00	○登園 ○持ち物の始末	○ 生活の流れが分かり、身の周りのことに興味をもち、自分ですらうとする。 - 前日の幼児の様子を基に、本日の遊びや生活を見通して、環境や教材を用意しておく。 - 時計の針の位置を示す絵をホワイトボードにかいたり、カレンダーを置いたりし、時間の経過や日にちに関心をもてるようにする。また、幼児なりに生活の見通しをもてるようにする。 ＜保育室設定図＞  ホワイトボード、カレンダー、出席ノートのコピーを見やすいように置く。 ※下図参照 ＜出席ノートのコピーを掲示＞  出席ノートのコピーに、行事や幼児の誕生日等を記入し、1か月の生活の見通しをもてるようにする。 “今日”がどこなのかを分かるように枠で囲い、毎日、日付に合わせて枠をずらしていく。 ＜ホワイトボード記入例＞  きょうのよてい - かたづけ 10じ45ぶん - おべんとう 11じ15ぶん - かみしばいをみる 1じ30ぶん 一日の生活に見通しがもてるよう、一日の予定を絵や文字・時計等で分かりやすく示す。 ○ 保育者や友達と一緒に園の自然環境や生き物に好奇心をもつ。 ＜例：ダンゴムシなど関心のある生き物の好きな食べ物、嫌いな食べ物を図鑑やタブレットで調べ、写真を撮って掲示＞  虫、栽培物等の身近な自然に触れ、学級の皆で発見や疑問等を共有できるよう、写真、発見メモ等で幼児の見やすい位置に掲示する。	

表内の  には、環境の構成の意図を示す。

時間	一日の流れ	第8期（4月～5月）	第9期（6月～8月）
		○具体的な姿・遊び・活動	・保育者の援助の重点
9:00 ～11:00	<自ら選んで する活動> ○砂遊び ○大型積み木 ○ごっこ遊び (お化け屋敷・ ケーキ屋等) ○鬼遊び (どろけい) ○水遊び ○リレー ○夏野菜等の 栽培と世話 ○小動物との 触れ合いや 世話 等	○ 気の合う友達と一緒に興味のある遊びや場を見つけて安心して遊ぶ。 - 自分たちで遊び出せるよう、遊びの場に必要なものを置いておき、保育者も仲間の一員となって用意しながら幼児が、したいことが実現できるようにさりげなく支える。 - それぞれが自分のイメージで遊ぶので、保育者は互いの考えや思いの橋渡しをしながら、イメージを共有して遊ぶ楽しさが味わえるようにする。 <砂場で山や川づくり><小動物との触れ合い>  はだしになってダイナミックに遊べるように砂場の安全点検をしておく。 <お化け屋敷ごっこ>  <大型積み木>  <ケーキ屋さんごっこ>  <用具・材料置き場～表示をして分かりやすく～>    <用具・材料置き場～机やワゴンを使って使いやすく～>   お店屋さん、お化け屋敷等、ごっこ遊びに必要な材料を机やワゴンを使い、材料ごとに表示をしたり、かごに入れたりして使いやすくする。	○ 自分の思いや考えを出し合いながら友達と遊ぶ楽しさを味わう。 - 必要な材料を自分たちで探したり考えを出し合ったりして、実現に向けた過程を楽しめるようにする。 - 役割分担や遊びの進め方で思いを伝え合っているか、見守ったり認めたりし、自信をもって考えを出し合えるようにする。 <野菜の収穫> 
11:00	○片付け	遊んだ場や遊具を片付ける。続きをするため場を残すときは、幼児と相談し、見通しをもって片付けられるようにする。	

時間	一日の流れ	第8期（4月～5月）	第9期（6月～8月）
		○具体的な姿・遊び・活動	・保育者の援助の重点
11:30	＜学級全体の活動＞	○ みんなで声を合わせて歌ったり、ゲームをしたりする。 ・ 学級のいろいろな友達と触れ合う機会となるようにする。	
12:00	○昼食	・ 午前中にした遊びや楽しかったことなどを話題にし、午後からの遊びで、それぞれのしたいことを楽しむことができるようにする。	
12:30	＜午後の活動＞	・ 固定遊具や虫探し等、それぞれのしたいことを保育者や友達と楽しめるように、一緒に遊んだり個々に声を掛けたりする。	
			
13:15	＜降園前活動＞ ○絵本等 ○振り返り ○当番の交代等	・ 保育者が幼児の姿を振り返って話題にしたり、幼児からの話を聞いて整理したりして、一人一人の幼児が明日への期待や保育者や友達とのつながりをもてるようにする。 	
		・ 幼児が自分たちの生活を進めようとする姿や主体的に行事や生活に取り組もうとする姿を認め、任せられる喜びを感じられるようにする。（飼育物の世話、誕生会の準備や司会、弁當時の机拭き、片付け等）	
14:00	○降園	・ 忘れ物がないかを自分で確認したり友達同士で教え合ったりできるように声を掛け、必要感をもって準備ができるようにする。 ・ 保育ドキュメンテーション、写真掲示、出席ノート等で保護者に幼児の生活、育ち等を分かりやすく伝えるようにする。 ＜ドキュメンテーションによる掲示＞  ドキュメンテーションとは… 遊びの様子、幼児のつぶやきや気づき、そこから捉えた育ち等を、写真やコメントと共に掲示し、保護者に発信するもの。	
		行事 ・新入園児を迎える会 ・「こどもの日」 ・母の日・父の日 等	・収穫物での調理・会食 ・七夕 等

期のねらい		第10期（9月～12月）	第11期（1月～3月）
		友達と互いのよさを認め合いながら、自分の力を発揮して生活する楽しさを味わう。	友達と共通の目的に向かって取り組む中で、満足感や充実感を味わい自信をもって行動する。
時間	一日の流れ	○具体的な姿・遊び・活動 ・保育者の援助の重点	
8:45 ～9:00	○登園 ○持ち物の始末 ○当番活動 ○飼育動物の世話・栽培物の水やり等	○ 生活の流れに見通しをもち自分たちで生活していこうとする。 前日の振り返りでの話し合いから、本日の遊びや生活がより豊かになるように教材や場の設定をするようにする。 ＜当番表例＞  ＜保育室設定図例＞  ＜ホワイトボード記入例＞  指導計画に基づき幼児の発達に応じて、学級の活動、グループ活動等も入れる。 (例) 皆でゲームをする、発表会の劇の相談をする等	
9:00 ～11:00	＜自ら選んでする活動＞ ○こま回し ○ドッジボール ○ごっこ遊び（ケーキ屋・ショー等） ○秋・冬の自然との遊び 等	○ 自分なりの目的に向かって取り組む中で、自分らしさを発揮する。 ・ やってみたいとする意欲を大切にして、自分なりのやり方とペースで頑張る姿を励ましていき、一人一人の幼児が達成感を味わい、自信をもって行動していくことができるようにする。 ○ 友達と共通のイメージをもって遊びを進めていく。 ・ ごっこ遊びに必要なものを工夫したり、本物らしくつくろうとしたりするのでそれぞれのイメージを丁寧に引き出し、それに合うような素材・材料を一緒に探したり考えたりする。 ○ グループの仲間と一緒に表現したり遊んだりする。 ・ 共通の目的に向かって力を合わせ、頑張ったり助け合ったりできるよう、自分たちで遊びを進めようとしている姿を見守ったり認めたりする。	

時間	一日の流れ	第10期（9月～12月）	第11期（1月～3月）
		○具体的な姿・遊び・活動	・保育者の援助の重点
11:00	○片付け	＜秋の自然物を使ったケーキやパフェ＞  ＜コリントゲーム＞  遊んだ場や使った遊具を、どうするとよいか友達と話し合う姿を見守り、必要に応じて助言しながら、翌日以降も自分たちで再構成できるようにしておく。	
11:30	＜学級全体での活動＞ ○ドッジボール ○いすとりゲーム ○鬼ごっこ 等	○ 学級の友達と互いに気持ちを分かり合って遊ぶ。 - 学級の友達と競い合ったり協力し合ったりすることが十分できるよう、保育者も仲間になって遊んだり、力や人数に合わせた場や十分な時間を確保したりする。 - 学級の友達と遊ぶ中で、いろいろな発想や意見が出てきたときは、全員で考え合う時間を持ち、活動に生かすことができるようにする。 - ドッジボールや鬼ごっこ等では皆で遊びながらルールやチームの決め方等を、幼児と一緒に考え、確認しながら遊ぶ。  	
12:00	○昼食		
12:30	＜午後の活動＞	○ 何をして遊ぶのかを友達と相談して、決められた時間の中で十分楽しむ。 - 自分たちで遊びを進める姿を見守ったり、仲間の一員として一緒に遊んだりする。 ○ 年中・年少児と一緒に遊ぶ。 - 運動会の踊りやリレーを一緒にしたり、ごっこ遊びに誘ったりして、年長児として優しく教え接しようとする姿を見守り、認める。 - お別れ会に参加したりお別れの言葉やプレゼントをもらったりする中で、もうすぐお別れすることを実感し、残りの日々を大切に過ごそうという思いをもてるようにする。	
13:15	＜降園前の活動＞ ○絵本等 ○振り返り ○当番の交代 等	今日の遊びを振り返り、友達の楽しかったことや困っていること等を伝え合えるように投げ掛け、友達の思いを知ったり、皆で考えたりして、明日の生活や友達との遊びへの意欲や目的がもてるようにする。	

時間	一日の流れ	第10期（9月～12月）	第11期（1月～3月）
		○具体的な姿・遊び・活動	・保育者の援助の重点
14:00	○降園	○ 複雑で長いストーリーの絵本や続きの物語を読み聞かせてもらう中で、自分なりに想像を膨らませながら楽しむ。 昨日の続きから読もうね。  今日は7ページからだね。 〇〇はどうなるのかな… 行事 ・運動会・遠足・芋掘り 作品展 ・クリスマス会 餅つき・大掃除 等 ・生活発表会・お別れ会 ・卒園式 等	
時期	小学校入学に向けて（児童との交流・小学校見学等）		
10～12月	○ 小学校に出掛け、様々な人や出来事に触れる。 ・ 小学校の作品展や就学時健診などに出掛け、様子を知ったり小学校の人と触れ合ったりできるようにする。 <小学校マップ>  就学時健診の頃に小学校マップを作成し、自分や友達がどこの小学校に行くか興味をもてるようにする。 <小学校マップ>  ・ 児童との交流活動や作品展見学では、プログラムや招待状を掲示し、事前にどんなことをするのかを知り、関心をもって参加することで、小学校や児童に対しての親しみの気持ちが増すようにする。 <児童からの招待状を見る様子>  <どんぐりごまを楽しむ様子> 		

<卒園に向けて～就学に期待を膨らませながら～>

○ 1年生になることに喜びや期待をもつ。

- ・ 小学校の授業参観や1年生との交流会で小学校の様子を見たり聞いたりすることで、小学校生活に期待をもつことができるようにする。

<小学校見学>



<給食献立表>

献立	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主食	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米
副食	鶏肉の唐揚げ	鶏肉の唐揚げ	鶏肉の唐揚げ	鶏肉の唐揚げ	鶏肉の唐揚げ	鶏肉の唐揚げ	鶏肉の唐揚げ	鶏肉の唐揚げ	鶏肉の唐揚げ	鶏肉の唐揚げ	鶏肉の唐揚げ	鶏肉の唐揚げ
汁物	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁
デザート	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物

小学校の給食献立表、時間割、小学校マップなどを目に入るように掲示し、学校生活への期待を感じられるようにする。

<絵本>

- ・ いちねんせい
- ・ ランドセルがやってきた
- ・ 1ねん1くみの1にち
- ・ いちねんせいのいちにち
- ・ がっこうだってどきどきしてる

<手づくりランドセルで小学校ごっこ>

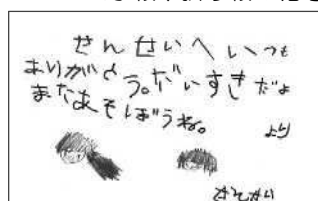


<卒園の気持ちを歌った歌>

- ・ ドキドキドン！1年生
- ・ さよなら ぼくたちのようちえん (ほいくえん)
- ・ ありがとう ころをこめて
- ・ みんなともだち
- ・ 1ねんせいになったら

- ・ 色々な活動や思いを共有してきたことを学級の皆で振り返り、うれしさ、大きくなった自信、周りの人への感謝の思いを膨らませ、残りの日々をより楽しく過ごそうと思えるようにする。

<手紙や折り紙の花等のプレゼント>



職員の名前のついたかごを用意してプレゼントを入れたり、直接言葉を伝えたりできるようにする。

お世話になった職員や家の方に、その幼児なりの形で感謝の気持ちを表せるよう、手紙用紙・折り紙等を用意する。

〇〇先生に、「いつも遊んでくれてありがとう」って言うおう！

- ・ 一人一人の就学への期待や不安を温かく受け止め、幼児自身が自分の力や成長を感じ、自信をもって過ごせるようにする。

<卒園に向けての壁面飾り>

園生活の思い出や好きだった遊び、小学校に向けての喜びや期待、自分の成長が感じられるものなどを、幼児と相談してつくりあげていく。



(3) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

	項目	幼稚園教育要領の内容	幼稚園教育要領解説に示された 小学校につながる姿
1 健	健康な心と体	幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。	小学校生活において、時間割を含めた生活の流れが分かるようになると、次の活動を考えて準備をしたりするなどの見通しをもって行動したり、安全に気を付けて登下校しようとしたりする姿につながる。 また、自ら体を動かして遊ぶ楽しさは、小学校の学習における運動遊びや、休み時間などに他の児童と一緒に楽しく過ごすことにつながり、様々な活動を十分に楽しんだ経験は、小学校生活の様々な場面において伸び伸びと行動する力を育んでいく。
2 自	自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。	小学校生活において、自分でできることは自分でしようと積極的に取り組む姿や、生活や学習での課題を自分のこととして受け止めて意欲的に取り組む姿、自分なりに考えて意見を言ったり、分からないことや難しいことは、教師や友達に聞きながら粘り強く取り組んだりする姿など、日々の生活が楽しく充実することにつながっていく。
3 協	協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。	小学校における学級での集団生活の中で、目的に向かって自分の力を発揮しながら友達と協力し、様々な意見を交わす中で新しい考えを生み出しながら工夫して取り組んだりするなど、教師や友達と協力して生活したり学び合ったりする姿につながっていく。
4 道	道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。 また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。	小学校生活において、初めて出会う人の中で、幼児期の経験を土台にして、相手の気持ちを考えたり、自分の振る舞いを振り返ったりなどしながら、気持ちや行動を自律的に調整し、学校生活を楽しくしていこうとする姿へとつながっていく。
5 社	社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。 また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。	小学校生活において、相手の状況や気持ちを考えながらいろいろな人と関わることを楽しんだり、関心のあることについての情報に気付いて積極的に取り入れたりする姿につながる。 また、地域の行事や様々な文化に触れることを楽しんで興味や関心を深めることは、地域への親しみや地域の中での学びの場を広げていくことにつながっていく。
6 思	思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたし、考えたり、予想したり、工夫したりする	小学校生活で出会う新しい環境や教科等の学習に興味や関心をもって主体的に関わることにつながる。

		など、多様な関わりを楽しむようになる。 また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。	また、探究心をもって考えたり試したりする経験は、主体的に問題を解決する態度へとつながっていく。
7 生	自然との関わり・生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。 また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをもち、関わるようになる。	小学校の生活や学習において、自然の事物や現象について関心をもち、その理解を確かなものにしていく基礎となる。 さらに、実感を伴って生命の大切さを知ること、生命あるものを大切に、生きることのすばらしさについて考えを深めることにつながる。
8 数	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。	小学校の学習に関心をもって取り組み、実感を伴った理解につながるるとともに、学んだことを日常生活の中で活用する態度にもなるものである。
9 言	言葉による伝え合い	先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。	小学校の生活や学習において、友達と互いの思いや考えを伝え、受け止めたり、認め合ったりしながら一緒に活動する姿や、自分の伝えたい目的や相手の状況などに応じて言葉を選んで伝えようとする姿などにつながる。 特に、戸惑いが多い入学時に自分の思いや考えを言葉で表せることは、初めて出会う教師や友達と新たな人間関係を築く上でも大きな助けとなる。
10 感	豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。	小学校の学習において感性を働かせ、表現することを楽しむ姿につながる。これらは、音楽や造形、身体等による表現の基礎となるだけでなく、自分の気持ちや考えを一番適切に表現する方法を選ぶなど、小学校以降の学習全般の素地になる。 また、臆することなく自信をもって表現することは、教科等の学習だけではなく、小学校生活を意欲的に進める基盤ともなっていく。

※ 上記の内容については、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領においても同様。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の10項目の読み取り方

文頭「〇〇の中で」:

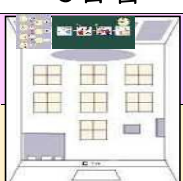
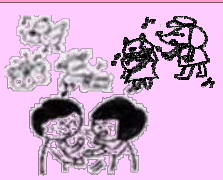
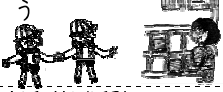
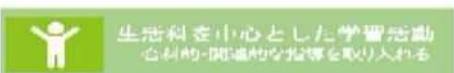
幼児教育の基本を逸脱するような早期教育や小学校教育の前倒しの活動ではなく、園で行われる自発的な活動としての遊びや生活の中で学ぶこと。（「環境を通して行う教育」）

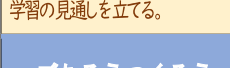
文末「〇〇ようになる」:

「できるようにさせる」という到達目標ではなく、「〇〇ようになる」過程を重視していること。その過程で、幼児が感じたり、楽しんだり、気付いたり、考えたり、葛藤したり、乗り越えたりする体験が次の体験につながるようにすること。

2 小学校入学当初におけるスタートカリキュラムについて(活動例)

※このページは、カラーで見いただけると、スタートカリキュラムでの児童の学習の流れがより分かりやすいです。

【スタートカリキュラムの実践例】1週目のめあて「安心 楽しい 小学校」																		
	1日目		2日目		3日目		4日目		5日目									
登校	○朝のしたく ○朝の会 ・おはようございます ・今日も元気かな ・今日はどんな一日		○朝のしたくができるかな ・ランドセルはロッカーに ・教科書などは机に ・連絡帳はカゴに ○支度ができたら自由遊び 安心をつくる時間 一人一人の気持ちを大切に、新しい小学校生活に慣れよう！															
朝の学活			幼児期に、登園後、身支度を済ませた後 自ら選んで活動を経験していることを生かして、教室に自分の好きなことや 興味をもっていることができる環境を用意し、安心して過ごすことができるようにする。															
1時間目	【対面式】 ○上級生や先生に 会いにいこう  ○手遊びタイム ○歌を歌おう		○朝の会 ・おはようございます ・今日も元気かな ・今日はどんな一日 ○手遊びタイム ○歌を歌おう				わくわくいっぱい いちねんせい ○朝の会 ・おはようございます ・今日も元気かな ・今日はどんな一日 ○読み聞かせタイム ○歌って踊ろう 											
	生活・国語・音楽																	
	園で歌ったことのある歌やしたことのある手遊び歌を行うことで、「知っていることだから大丈夫」「自分にもできそう」と思ったり、読み聞かせの活動を取り入れることで、「園と同じように読み聞かせも楽しいな」と感じたりすることで、緊張や不安を和らげるようにする。																	
2時間目	わくわくいっぱい いちねんせい ○絵を見てお話しよう ・どんな人がいるかな ・どんなものがあるかな  ○靴箱や傘立ての使い方を 知ろう		がっこうってどんな ところかな ○トイレ・手洗い場を 見にいこう  ○ロッカーの使い方、 用具のしまい方、提出 物の出し方を知ろう 		がっこうたんけん してみよう ○文字や数字、形を 見付けよう いろいろな形を 見付けたよ。  積み木を 10段積みしたよ。		がっこうたんけん してみよう ○校庭にはどんなもの があるかな、見付けに いこう 		みつけよう かたち いろ 【図画工作】 ○「ずこうのたいそう」を やってみよう ○園ではどんなことが好き だったのか、伝え合おう ○どんな形や色があるか な、見付けたことを伝え 合おう 									
	生活・道徳・特別活動 絵の中から知っているものや好き なものを探すようにすることで、安 心して話ができるようにする。		生活・特別活動 幼児期の経験を聞き取りながら、 使い方などを児童と一緒に考え るようにする。		生活・国語・算数 遊びや生活の中での数や形、標識 や文字などを見付けたり気付いた りする経験を生かして、校内のそれ らを探す活動をするように。		生活・体育 園にあったもの、園とは違うもの、 なかったものを探す活動をする ことで、安心感と期待感をもつこ とができるようにする。		生活・国語・図工 体を動かしたり自分の好きなもの を探したりする活動をすることで、 主体的に形や色を探す活動につな げるとよい。									
3時間目	がっこうってどんな ところかな 【分団児童会】 ○分団の集合場所や 集合時刻を覚えよう ○一斉下校の仕方を 覚えよう 		がっこうってどんな ところかな ○帰りの支度の仕方を知 ろう ○下校グループを知って、 きまりを守って下校しよ う 		がっこうたんけん してみよう ○学校にはどんな人が いるかな、探していこう 		たのしくかいてみよう 【国語】 ○鉛筆の持ち方や字を 書く姿勢を知ろう ○自分の名前を書いて みよう 		わたし できるよ ○名刺をつくらう ・自分の名前と好きなもの をカードにかく。 									
	生活・特別活動 幼児期と同じように学級や下校の 方面別などのグループがあること を知らせておくように。		生活・特別活動 登校の様子を聞き取り、下校の約 束を児童と一緒に考えるようにす る。		生活・国語・道徳 今までの経験を基に、場面に合っ た言葉や動作の仕方を考え、やり 取りをペアで練習するにように。		生活・国語・書写 「唱え歌」を歌いながら楽しく活 動することで、正しい鉛筆の持ち 方や姿勢を知ることができるよ うにする。		生活・国語・図工 前日に名前を書いた経験や自分の 好きなものを伝え合った経験を生 かし、楽しんで名刺を作ることがで きるようにする。									
4時間目	 																	
給食	 																	
そうじ																		
帰りの学活	○一日を振り返ろう ・今日はどんな一日だった？ ・明日はどんな一日かな？																	
下校	分団下校		学年下校 ○安全に気を付けて帰ろう															
時数(15)	国語	3	算数	1	生活	3	音楽	2	図工	1	体育	1	道徳	1	特活	2	行事	1

【スタートカリキュラムの実践例】 2週目のめあて「学校大好き 友達と過ごすの楽しいな」																			
		6日目			7日目			8日目			9日目			10日目					
登校		 安心をつくる時間 一人一人が安心感を持ち、新しい人間関係を築いていくことをめざして学習						○朝のしたくができるかな ○したくができたなら自由遊び											
朝の学活								 ○朝の会 ○歌を歌おう ○読み聞かせタイム  ○手遊びタイム ○歌って踊ろう											
1時間目		生活・国語・音楽																	
		わたしできるよ			はじめのいっぽ			がっこうたんけん			がっこうたんけん			もっとたんけん					
		○友達となかよくなろう ・自分の名前と好きなものを伝え合いながら、仲間づくりをする。 ・歌やじゃんけん列車をして友達となかよく楽しむ。 			【算数】 ○同じ仲間をまとめて囲もう 探検でいろいろなものを見つけた経験を基に、教科書の動画を見て学習の見通しを立てる。 			○学校生活で気になった人や物について話そう ・学校のことについてもっと知りたいという思いをもつ。 ・挨拶やマナーについて知る。 			○学校探検をしよう ・どんな教室や場所があるのか探す。 ・いろいろな人がいることに気付く。 ・いろいろな人に話をし、なかよくなる。 ○見付けた発見をカードにかこう ・絵や文字でカードにかく。 ・見付けた発見をグループの友達と伝え合う。			○見付けた発見を発表しよう ・国語で発表の仕方を学習する。 ・見付けた発見をかけたカードを見せながら発表する。 ・学校のことでもっと知りたいことを考える。					
		生活・国語・音楽・体育・特別活動・道徳			ごちそうつくろう 【図画工作】 ○食べてみたい「ごちそう」を粘土でつくろう			生活・国語・道徳			生活・国語・算数			生活・国語					
		幼児期に経験した歌や遊びに取り組むことで、安心した和やかな雰囲気の中で友達と関わるようにする。			粘土でいろいろなものをつかった経験を生かし、友達とつくりたいものを話しながら、自由につくることができるようになる。			児童の発言を基にした自発的な活動になるようにする。			生活・国語・算数			発表したことを視覚的に捉えることができるように、写真を提示したりカードの掲示の仕方を工夫したりする。					
2時間目																			
3時間目		そとであそぼう			がっこうたんけん			体づくりとゆうぐ・てつぼう			おはなしきこう			体づくりとゆうぐ・てつぼう					
		○外遊びをしよう ・着替えや集合・整列の仕方を知る。 ・外遊びの約束を知る。 生活・体育 幼児期の経験を聞き取りながら、使い方などを児童と一緒に考えるようにする。			○おいしそうないいにおいはどこからするのか探しに行こう  ○給食当番や掃除当番のやり方を知ろう  生活・特別活動			園で友達と関わり合いながら体を動かして遊ぶ楽しさを味わっている。小学校でも、友達と一緒に楽しみながら活動できるようにする。			園で読み聞かせをしてもらった体験を思い出し、学校での活動を楽しむことができるようにする。			園で友達と関わり合いながら体を動かして遊ぶ楽しさを味わっている。小学校でも、友達と一緒に楽しみながら活動できるようにする。					
4時間目								はじめのいっぽ			さんすうみつけた			さんすうみつけた					
					いっしょにおいしくする場所を探す活動から給食調理場の場所や役割を知り、初めての学校での給食に期待をもつことができるようにする。			○1対1に対応付けて数の多少を線で結んだり、数図ブロックに置き換えたりして調べよう 幼児期に育まれた数量の感覚を生かして視覚的に捉えることで、多少の調べ方を実感できるようにする。			○5までの数について、数図ブロックと対応させたり、数えたりしよう			○5までの数字を正しくかこう					
給食		たのしく なかよく たべよう																	
そうじ		なかよく そうじを しよう																	
5時間目		わくわくがっこう			じぶんのなまえ			うたってあいいうえお			うたってみよう			うごいてみよう					
		【道徳】 ○学校ではどんな楽しいことがあるかな 今日の一日を振り返り、これからワクワクする楽しいことがありそうだと期待をもつことができるようにする。			【書写】 ○正しい姿勢や鉛筆の持ち方で、自分の名前を書こう 「唱歌」を歌いながら、鉛筆の持ち方などを確認することで、友達と楽しみながら、安心して取り組むことができるようにする。			【国語】 ○いろんな方法で音読し、筆順に気を付けて書こう 友達と一緒に歌を歌ったり、体を動かしたりすることで、文字に好奇心をもって取り組むことができるようにする。			【音楽】 ○友達と一緒に歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりして楽しもう 仲良く楽しく活動することで、来週の学校生活に期待をもつことができるようにする。								
帰りの学活		○一日を振り返ろう ・今日はどんな一日だった？ ・明日はどんな一日かな？																	
下校		学年下校 ○安全に気を付けて帰ろう																	
時数(23)		国語	7	算数	4	生活	4	音楽	2	図工	1	体育	3	道徳	1	特活	1	行事	0

【スタートカリキュラムの実践例】3週目のめあて「自分でやれるよ チャレンジしよう」																		
	11日目			12日目			13日目			14日目			15日目					
登校	 安心をつくる時間 一人一人が安心できる、新しい人間関係を築いていこうとがんばる学習						○朝のしたくができるかな ○したくができたなら自由遊び											
朝の学活							○朝の会 ○歌を歌おう ○読み聞かせタイム ○手遊びタイム ○歌って踊ろう											
1時間目	もっとたんけん			もっとたんけん			もっとたんけん			もっとたんけん			もっとたんけん					
	○もっと学校探検をしよう ・友達の発見やもっと知りたいことを探す。 ・もっといろいろな人に話をしなかよくなる。			○見付けた発見を発表しよう ・国語で発表の仕方を学習する。 ・見付けた発見をかけたカードを見せながら発表する。			○もっと学校探検をしよう ・友達の発見やもっと知りたいことを探す。 ・音楽室を探検する。 ・いろんな楽器を触ってみたり、みんなで歌を歌ったりする。			○もっと学校探検をしよう ・友達の発見やもっと知りたいことを探す。 ・図書室を探検する。 ・司書さんと関わったり、読み聞かせを聞いたりする。			○もっと学校探検をしよう ・友達の発見やもっと知りたいことを探す。 ・いろいろな人に話をしなかよくなる。 ○見付けた発見をカードにかこう ・発見を発表する。					
	○見付けた発見をカードにかこう ・絵や文字でカードにかく。 ・見付けたことをグループの友達と伝え合う。						○見付けた発見をカードにかこう ・絵や文字でカードにかく。 ・見付けたことをグループの友達と伝え合う。			○見付けた発見をカードにかこう ・絵や文字でカードにかく。 ・見付けたことをグループの友達と伝え合う。								
2時間目	生活・国語			生活・国語			生活・国語・音楽			生活・国語			生活・国語					
児童の発言を基にした自発的な活動になるようにする。																		
3時間目	どんだんかいてみよう 【図画工作】			体づくりとゆうぐ・てつぼう 【体育】			体づくりとゆうぐ・てつぼう 【体育】			ことばいろいろ 【国語】			体づくりとゆうぐ・てつぼう 【体育】					
	○あったらいいなと思うおひさまを思い浮かべ、自由にかこう			○友達と楽しく運動遊びをしよう			○友達と楽しく運動遊びをしよう			○声を出して読もう ○よく聞いて話そう ○言葉を探そう			○友達と楽しく運動遊びをしよう					
	自分の好きな形や色を発表する。園でクレヨン・パスで絵を描いた経験を生かすようにする。			園で友達と関わり合いながら体を動かして遊ぶ楽しさを味わっている。小学校でも、友達と一緒に楽しみながら活動できるようにする。			発達特性を考慮して、10～15分程度の時間で活動を変化させるようにする。			園で友達と関わり合いながら体を動かして遊ぶ楽しさを味わっている。小学校でも、友達と一緒に楽しみながら活動できるようにする。								
4時間目	うたってあいうえお 【国語】			ことばいろいろ 【国語】			さんすうみつけた 【算数】			さんすうみつけた 【算数】			さんすうみつけた 【算数】					
	○習った文字で言葉を作ろう			○声を出して読もう ○よく聞いて話そう ○言葉を探そう			○10までの数について、数図ブロックと対応させたり、数えたりしよう			○10までの数字を正しくかこう			○10までの数について、順序よく数えよう					
	友達と一緒に歌を歌ったり、体を動かしたりすることで、文字に好奇心をもって取り組むことができるようにする。			発達特性を考慮して、10～15分程度の時間で活動を変化させるようにする。			幼児期に育まれた数量の感覚を生かして視覚的に捉えることで、数で表すよさや楽しさを実感できるようにする。											
給食	たのしく なかよく たべよう																	
そうじ	なかよく そうじを しよう																	
5時間目	きもちよくせいかつしよう 【道徳】			さんすうみつけた 【算数】			ひらがな 【国語】			はさみでちよきちよき 「図画工作」			うたってみよう うごいてみよう 【音楽】					
	○毎日を気持ちよく過ごすために、どんなことが大切か考えよう			○5までの数について、順序よく数えよう			○「とめ」「はらい」の書き方に気を付けて書いてみよう			○紙を折って切っているいろいろな形をつくろう			○友達と一緒に歌ったり、体を動かしたりして楽しもう					
	園でできるようになったことを伝え合い、学校で頑張りたいことを考えることができるようにする。			幼児期の体験を基に、楽しみながら活動できるようにする。			「唱歌」を歌ったり動作に表したりする活動を取り入れ、楽しみながら理解できるようにする。			はさみを使った経験を伝え合い、安全な使い方を確認する。また、飾りの面白さを友達と話すようにするとい。			仲良く楽しく活動することで、来週の学校生活に期待をもつことができるようにする。					
帰りの学活	○一日を振り返ろう ・今日はどんな一日だった？ ・明日はどんな一日かな？																	
下校	学 年 下 校 ○安全に気を付けて帰ろう																	
時数(25)	国語	9	算数	4	生活	4	音楽	2	図工	2	体育	3	道徳	1	特活	0	行事	0

<スタートカリキュラム1時間分の枠の構成について>

スタートカリキュラム実践例では、入学当初の3週間分を例に時間割形式で示している。なお、スタートカリキュラム1時間分の枠内の構成は、最上段が活動名、2段目が活動内容、3段目が関連する教科・領域、4段目が幼児期の学びの生かし方となっている。また、桃色は安心をつくる時間、緑色は生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動、青色は教科を中心とした学習活動となっている。

3 1年生の各教科の教育課程における

「幼保小（架け橋カリキュラム）」について

幼児期に遊びを通して育んだ「学びの芽」を、小学校の教科等の学びに生かしていくことが、子どもたちの資質・能力を伸ばしていくことにつながる。そのためには、小学校1年生では、幼児教育と小学校教育のつながりを見通した教育課程の計画と実施が大事である。

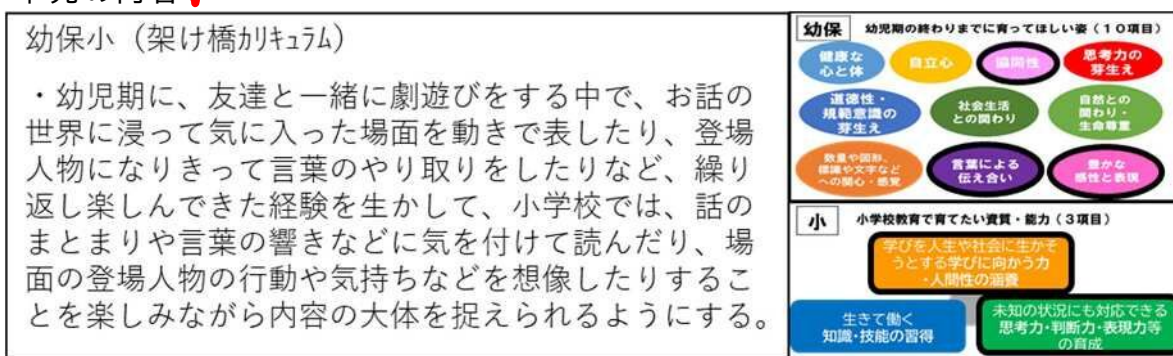
そこで、幼児が遊びを通して学ぶ姿を捉え、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、架け橋期の資質・能力の育ちのつながりについて理解を深め、実践に生かすことができるよう、次のような図表で示した。

＜幼保小（架け橋カリキュラム）の図表の見方＞

この枠には幼児期の学びの経験や資質・能力の育ちが小学校の学習にどのようにつながり、どのように指導に生かすとよいかを記載。これは、各教科に入れる架け橋の記載の詳細として次ページ以降に集約している。

【教科】

単元の内容



この図では、関連する単元や活動について「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、幼児期に経験したことや資質・能力の育ちを○で囲ってある。それが小学校教育で育てたい資質・能力のどことつながっているかを□で囲っている。

小学校での各教科の単元では、幼児期に遊びの中で育まれてきた資質・能力を、さらに伸ばすべく、幼児教育の成果を生かし自覚的な学びの姿につなげる指導が望まれる。そこで、1年生の教育課程の各教科の幼保小接続関連単元等には、この「幼保小（架け橋カリキュラム）」の図表をもとに、教師の指導のポイントを要約したものを架け橋として記載している。実践の参考にし、幼児教育と小学校教育との円滑な接続が図られるよう活用いただきたい。

なお、生活科の教育課程では全単元が「架け橋期」にあたるので、「幼保小（架け橋カリキュラム）」の図表は全て生活科の各単元に掲載している。

【国語】

うたってあいうえお

幼保小（架け橋かきゅら）

・幼児期は、生活の中で自分の気持ちを言葉で表し、伝え合う喜びを感じる経験を重ね、文字や言葉の意味や面白さ、音の響きなどに気付いていく。このような経験を基に、小学校では、言葉を発する楽しさを味わい、児童自身が発音や口形の違いに気付き、姿勢や発声にも気を付けて話すことができるようにする。



ものがたりをよもう

幼保小（架け橋かきゅら）

・幼児期に、友達と一緒に劇遊びをする中で、お話の世界に浸って気に入った場面を動きで表したり、登場人物になりきって言葉のやり取りをしたりなど、繰り返し楽しんできた経験を生かして、小学校では、話のまとめや言葉の響きなどに気を付けて読んだり、場面の登場人物の行動や気持ちなどを想像したりすることを楽しみながら内容の大体を捉えられるようにする。



【算数】

はじめのいっぽ（4月）

幼保小（架け橋かきゅら）

・幼児期に、鬼ごっこやドッジボールなど勝敗やルールのある遊びの楽しさを味わう中で、チームの人数の違いに気付き、自分たちで調整して遊んだ経験や、学級の友達とみんなで仲間集めゲームなどを楽しんできた経験を基に、小学校では、ものの集まりや数に親しみをもって関わるように、学校探検と関連づけるなどして、学校生活の身近な場面で、具体物も使いながら楽しんで学習を行うことができるようにする。



さんすう みつけた（4月）

幼保小（架け橋かきゅら）

・幼児期に、遊びや生活の中で、カレンダーや時計などの身近な数字に関心をもったり、ものの数を数えたり、誕生日を迎えて前の学年の時よりひとつ大きくなったことを実感する中で「3歳、4歳、5歳」と数字の変化から大きさを感じ取ったりする経験をしてきた。これまでの体験を生かして小学校では、10までの数に親しみをもって関わるように、体験を想起できる場面で、具体物を使いものを数で表すよさや楽しさを感じながら学習を行うことができるようにする。



かたち いろいろ(6月)

幼保小（架け橋かきゅうム） ・ 幼児期に、空き箱などの廃材、積み木やブロックなどいろいろな立体物を使って、つなげたり積み上げたりしながら自分がイメージしたものをつくったり、偶然できた形を面白がって遊びに取り入れたりした経験を生かして、小学校では、身の回りにある立体図形に親しみをもって関わり、形の特徴を捉えたり仲間分けしたりすることができるようにする。	幼保 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10項目） 健康な心と体 自立心 協同性 思考力の芽生え 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 自然との関わり・生命尊重 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 小 小学校教育で育てたい資質・能力（3項目） 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養 生きて働く知識・技能の習得 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
--	---

【音楽】

うたってみよう うごいてみよう(4・5月)

幼保小（架け橋かきゅうム） ・ 幼児期に、好きな曲に合わせて自分たちで踊り方を考えて踊ったり、なりたい役になりきって表現する中で動きに合った音や曲を鳴らして、それらしく動いたりして、友達と一緒に様々な音楽に全身で親しんできた経験を基に、小学校では、曲想を感じ取りながら聴いたり、音楽に合わせて表現したりすることができるようにする。	幼保 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10項目） 健康な心と体 自立心 協同性 思考力の芽生え 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 自然との関わり・生命尊重 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 小 小学校教育で育てたい資質・能力（3項目） 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養 生きて働く知識・技能の習得 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
---	---

すきなおとを みつけよう(11月)

幼保小（架け橋かきゅうム） ・ 幼児期に、カスタネットやタンバリン、鈴、トライアングルなどの打楽器を始め、いろいろな楽器に触れて遊ぶ中で、友達と気持ちを合わせてリズム打ちや合奏を楽しんだ経験を基に、小学校では、音遊びをしながらいろいろな楽器で音を出し、音の響きや音色の美しさや面白さを感じ取り、気に入った音を見付けたりその音を友達とつなげたりすることができるようにする。	幼保 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10項目） 健康な心と体 自立心 協同性 思考力の芽生え 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 自然との関わり・生命尊重 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 小 小学校教育で育てたい資質・能力（3項目） 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養 生きて働く知識・技能の習得 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
---	---

うたのまねっこ(1月)

幼保小（架け橋かきゅうム） ・ 幼児期に、先生や友達との言葉のやりとりを心地よく感じ、手遊びやわらべ歌遊びを楽しんだり、いろいろな歌を歌う中で、掛け合いのリズム表現や声を合わせて歌う楽しさを味わったりしてきた。その経験を基に、小学校では、交互唱の面白さや友達と声を合わせることに興味をもち、楽しみながら取り組めるようにする。	幼保 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10項目） 健康な心と体 自立心 協同性 思考力の芽生え 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 自然との関わり・生命尊重 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 小 小学校教育で育てたい資質・能力（3項目） 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養 生きて働く知識・技能の習得 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
--	---

【図画工作】

すなばであそぼう

幼保小（架け橋かきゅら） ・ 幼児期に、砂や土の感触を体全体で感じ取り、友達と試行錯誤しながら「山や川」「泥団子」などをつくり上げる楽しさを味わった経験を基に、小学校では、砂や土に触れて、したいことを考え、思い付いたことを友達と一緒にいろいろ試すことができるようにする。 ・ 近隣の幼児教育施設と連携し、年長児と一緒に園（所）の砂場で一緒に遊ぶことで、幼児から刺激を受け、これまでの経験を想起し、思い付いたことをいろいろ試そうとする児童の姿を引き出すのもよい。	幼保 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10項目） 小 小学校教育で育てたい資質・能力（3項目） 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養 生きて働く知識・技能の習得 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
--	---

はこをつかって なにつくろう

幼保小（架け橋かきゅら） ・ 幼児期に、自分がつくりたいイメージに合う空き箱や空き容器などを選び、遊びに必要なものをつくりたり、積み木を組み合わせさせて遊び場をつくりたりした経験を基に、小学校では、集めたたくさんの材料で、できる形に気付いたり、材料の使い方を工夫したりして、思い付いたことを友達と一緒にいろいろ試すことができるようにする。 ・ 幼児教育の環境づくりの設定※を参考に、児童が様々な用具や材料を選択して使うことができるような環境設定を行うとよい。 ※「幼保小接続」P.4～10や参考資料「環境の構成アイデア・ポイント集～5歳児編～」参照(目次の二次元コードにて閲覧可)	幼保 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10項目） 小 小学校教育で育てたい資質・能力（3項目） 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養 生きて働く知識・技能の習得 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
---	---

【体育】

からだづくりとゆうぐ・てつぼう

幼保小（架け橋かきゅら） ・ 幼児期に、いろいろなものになりきって遊ぶ中で、様々な体の動きを生かし、のびのびと動くことを楽しんだり、少し難しそうなことにも挑戦し、諦めずにやり遂げる達成感を味わったりした。また、友達と共通の目的をもって遊ぶ中で、考えを伝え合ったり力を合わせたりする経験をしてきた。それらを生かして、小学校では、自分が楽しくできるよう運動遊びを選択したり、遊び方を工夫したりすることができるようにする。また、仲間の良い動きを見付けたり、考えたりしたことを仲間に伝えることができるようにする。	幼保 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10項目） 小 小学校教育で育てたい資質・能力（3項目） 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養 生きて働く知識・技能の習得 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
---	---

にんじゃごっこ

幼保小（架け橋かきゅら） ・ 幼児期に、動物や絵本の登場人物などになりきってのびのびと動いたり、走る・とぶ・くぐる・転がるなど思いのままに体を動かして遊んだりする楽しさを味わってきた経験を基に、小学校では、動きを忍者に見立てたり、一連の動きをストーリー仕立てにしたりしてイメージしやすい言葉掛けをしながら子どもが「やってみたい」と思うような雰囲気づくりをする。	幼保 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10項目） 小 小学校教育で育てたい資質・能力（3項目） 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養 生きて働く知識・技能の習得 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
---	---

【道徳】

しぜんとなかよく

幼保小（架け橋かきゅら）

・ 幼児期に、自分たちで野菜等を育て、成長する様子を驚きや喜びをもって世話をし、収穫する喜びや皆と食べるうれしさを味わったり、虫を捕まえて観察や飼育をしたりしてきた。その経験を基に、小学校では、自然との触れ合いの中で自然や動植物のもつ不思議さ、生命力、共に生きていることのおしさなどを想起できる場面で、自然や動植物を大事に守り育てることについて考え、話し合えるようにする。



ともだちのことをかんがえて

幼保小（架け橋かきゅら）

・ 幼児期に、友達に自分の考えや感じたことを言葉で伝え、遊びや生活を楽しんだり、トラブルになっても一緒に遊びたい気持ちから友達の気持ちを押し量ったり一緒に考えたりして折り合いをつけて解決に向かってきた経験を基に、小学校では、友達と一緒に仲良く活動してよかったことや楽しかったこと、また、助け合ったことなどを想起する場面で、その大切さについて考えられるようにする。さらに、友達と仲良くする大切さについて話し合えるようにする。

